科目名		社会心理学			■専門科目群 □総合科目群				
				科目分類	総合政策	学部	□必修	■選択	
					7	学部	□必修	□選択	
英文表記		   Social Psycho	ology	開講年次	■1年 □				
				開講期間	□前期■	1		1	
ふりがな		せと ひろし					2単位		
担当者名		瀬戸泰		実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用				
授業のテーマ		「人間は社会的動物である」といわれるように、私たちは日々、社会からの影響を受けつつ、同時に社会に影響を与えながら生活を送っています。社会心理学は、人の心や行動を、社会との関わりの中から説明しようとする学問です。本授業では、社会心理学に関する代表的な実験や理論を学び、社会の中で生きる私たち自身について理解を深めることをテーマにします。							
到達目標		1. 社会心理学に関する代表的な実験や理論を理解し、説明することができる。 2. 社会生活における身近な出来事や現象について、社会心理学的な知見を当てはめて考察できる。							
授業概要		座学を中心に、社会心理学に関する基本的な内容を説明します。単に知識を紹介するだけでなく、具体 事例等を織り交ぜ、理論と日常(実践)を往復しながら学べるような視点を意識して授業を行います。							
授業計画									
第1回	イ	ントロダクション	(授業の概要、社会心理学とは、場の理論、人と社会の相互作用)						
第2回	他者の影響		(社会的促進、社会的手抜き、傍観者効果)						
第3回	集団の中の個人①		(内集団と外集団、社会規範、同調と協調)						
第4回	集	団の中の個人②	(集団間葛藤、葛藤の解消のために、集団意思決定の特徴)						
第5回	5回 集団の中の個人③		(権威と服従、権力を持つと人はどうなる?、社会的役割の影響)						
第6回	群集		(群集心理、パニック、群集雪崩、流言)						
第7回	ステレオタイプ		(様々なステレオタイプ、偏見・差別、ステレオタイプ脅威)						
第8回	障害と社会		(障害とは、医学モデルと社会モデル、障害者差別解消法、合理的配慮)						
第9回	対人魅力		(対人魅力の要因、SVR 理論、恋愛関係、愛って何だ?)						
第10回	印	象形成と対人関係の深まり	(第一印象、中心特性と周辺特性、自己呈示と自己開示)						
第11回	11 回 態度と説得		(態度とは、バランス理論、認知的不協和理論、説得の技法)						
第12回	マ	インド・コントロール	(カルト、マインド・コントロールの手口、脱マインド・コントロール)						
第13回	第13回 家族という集団		(家族心理学、家族関係の歪みとしての症状、円環的因果律、家族療法)						
第14回	文化と心		(文化心理学、文化的自己観、心の文化差の要因、心の階層性)						
第15回	進化と適応・全体まとめ(進化心理学、進化の産物としての心、性淘汰、垂直伝播と水平伝播)						平伝播)		
第16回	回 定期試験								
授業時間外の 学習内容の定着を図るため、毎回、復習を行うようにしてください。 学習 授業で学んだことを、日々の経験や日常生活で意識的に当てはめ、考察・活用で				きるよう努	ろめて下さい。				
履修条件 受講のルール		履修のための条件はありません。							
テキスト		毎回、講義用レジュメを配布します。							
参考文献・資料		堀 洋道(監)『新編 社会心理学』(福村出版、2009)							
成績評価の方法		毎回のコメントシート 40%、試験 60% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を 受けることができません。							

オフィスアワー	月曜日もしくは火曜日の 10:30 ~ 12:00 ※上記以外の時間帯でも、研究室に在室中であればお声がけください。 <u>E-mail:seto@nau.ac.jp</u>				
成績評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)				
実務経験及び 実務を活かした 授業内容					
学生への メッセージ	「私たちはなぜ、空気を読んで他者や集団に合わせるのか」 「そもそも場の空気って何だろう?」 「権力や社会的役割ってどのように影響するのだろうか」 「対人魅力や恋愛に影響する要因って何なのだろう」 「家族の機能や関係性ってどう捉えていくことができるのか」など、皆さんは日常生活で感じたり考えたりしたことはないでしょうか。社会心理学では、こうした「個人」と「他者・集団・社会」との関係の中での人の心理・行動的な側面について、様々な興味深い実験等を通じて検証が行われています。 私たちは皆、生きている限り社会と関わっており、その意味では社会心理学の知見は、日常生活を送るうえで役立つ実践的な知恵になると考えられます。				